

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○雇用支援の充実

**労働環境対策事業**

【 商工課 】

※重点事業(事業CD:6-3-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 雇用支援の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者等

意図 勤労者の労働環境の向上を図るため。

効果 基礎資料を得るとともに労働問題への啓発を図り、労働団体への補助金の交付を通して勤労者の福利厚生の実をを図りながら、雇用対策の充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 労働動態調査、地区労働団体との協議、補助金の交付を行った。
- ・ 雇用対策事業を実施し、雇用促進を図った。
- ・ 求職者向け就労支援事業を行った。
- ・ 勤労者等に向けた労働相談等事業を行った。
- ・ 若者・女性の就労支援に向けた事業を行った。
- ・ 市民雇用に向けた企業ニーズ調査を行った。
- ・ 労政全般に係る庶務的業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,654	6,852	6,118		734
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 2人		2,057	1,692
8節	労働法律相談報償費		221	220
9節	事務補助嘱託員費用弁償		239	124
11節	消耗品費		78	78
	印刷製本費		30	29
12節	雇用対策セミナー実施広告料		158	158
13節	雇用対策セミナー実施委託料		389	163
	就労困難若年者支援委託料		486	486
	就労困難若年者家族カウンセリング委託料		194	194
	メンタルヘルスカウンセリング委託料		156	143
	求職カウンセリング委託料		156	143
	労働相談業務委託料		324	324
	企業ニーズ調査委託料		3,240	1,438
14節	ファクシミリ賃借料		13	13
19節	湘南合同就職面接会実行委員会負担金		130	130
	協働事業負担金(働くまち鎌倉推進～キャリアのセカンドステップ～)		300	300
	県駐労福祉センター運営費補助金		33	33
	労働祭補助金		300	300
	鎌倉地区勤労者体育大会補助金		150	150

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○働く環境の充実

**勤労者福利厚生事業**

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 働く環境の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者

意図 勤労者のために融資預託、その他の支援を行うため。

効果 勤労者の生活環境向上及び福祉の増進

【 事業の内容 】

- ・ 勤労者退職金共済機構等との新規契約者に掛金の一部補助を行った。
- ・ 福利厚生事業を行う労働団体に補助金を交付した。
- ・ 市内に居住、勤務している勤労者の生活の安定と福利厚生を増進を図るため、勤労者生活資金融資を実施する中央労働金庫に資金を預託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
36,115	36,115	35,722		393

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
19節 中小企業退職金共済掛金補助金	585	192
三浦半島地域労働者福祉協議会補助金	530	530
21節 中央労働金庫預託金	35,000	35,000

鎌倉市勤労者生活資金融資利用状況

	新規貸出(29.4~30.3)		貸出残高(30.3末現在)	
	件数	金額(円)		金額(円)
生活資金	8	10,390,000	69	56,914,058

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○働く環境の充実

**勤労者福祉支援事業**

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 働く環境の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者

意図 湘南勤労者福祉サービスセンターの活動を支援するため。

効果 勤労者の福利厚生の実現

【 事業の内容 】

- ・ 中小企業勤労者の福利厚生の向上を目的として事業を行う湘南勤労者福祉サービスセンターへ負担金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,721	23,721	23,656		65
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節 湘南勤労者福祉サービスセンター運営事業費負担金			23,721	23,656

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○技能振興の充実

**技能振興事業**

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 技能振興の充実

【 事業の目的 】

対象 技能職者

意図 技能職者の技術水準の向上や、社会的地位の向上を図るため。

効果 技能振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・技能功労者等の表彰や設立40周年記念事業に補助を行うなど技能職団体連絡協議会の活動を支援することにより、技能振興を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
750	750	624		126
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	技能者表彰選考委員会委員報酬 8人		30	24
8節	技能者表彰記念品等報償費		170	75
11節	消耗品費		30	5
19節	技能職団体連絡協議会補助金		270	270
	技能職団体連絡協議会設立40周年記念行事補助金		250	250

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

市民活動部産業振興課(勤労者福祉担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	18,507	19,612
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 2人	9,120	9,302
・ 3節 職員手当等	6,249	6,991
扶養手当	132	0
地域手当	1,388	1,395
通勤手当	241	375
超過勤務手当	264	855
期末勤勉手当	3,988	4,131
住居手当	236	235
・ 4節 共済費 市町村職員共済組合負担金	3,138	3,319

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 5 農業委員会費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

**農業委員会事務**

【 農業委員会事務局 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 農業従事者等

意図 農地法等に基づく農地問題の公正円滑な処理、農地の農業上の利用増進、農業経営の合理化を行うため。

効果 鎌倉市に適した都市農業を目指す。

【 事業の内容 】

- ・ 農業委員会委員報酬の執行、遊休農地解消対策事業の実施など農業委員会に関する事務事業を行った。
- ・ 農地管理システムを運用し、市内農地について農地法に基づく適正な管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,078	7,994	7,568		426
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	農業委員会委員報酬 16人		5,372	5,372
	農業委員選定委員会委員報酬		104	0
8節	収穫まつり入賞記念品		5	5
9節	農業委員費用弁償		40	21
	事務局職員普通旅費		35	18
10節	農業委員会交際費		1	0
11節	遊休農地解消対策事業等消耗品費		870	618
	遊休農地解消対策事業用燃料費		3	0
	印刷製本費		0	7
	農機具修繕料		1	0
13節	農地管理システム地図データ変換業務委託料		77	77
14節	農地管理システム使用料		1,502	1,384
	神奈川県農業委員大会マイクロバス借上料		60	58
19節	農業委員会職員事務研究会負担金		8	8
<主な特定財源>				
	・国県支出金			158

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 10 農業水産業総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

市民活動部産業振興課(農水担当)

農業委員会事務局

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	60,399	60,951
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 8人	27,804	27,851
・ 3節 職員手当等	22,881	22,955
扶養手当	1,026	934
地域手当	4,458	4,466
通勤手当	568	474
超過勤務手当	986	1,170
休日給	0	9
管理職手当	987	986
期末勤勉手当	12,406	12,708
住居手当	1,610	1,508
児童手当	840	700
・ 4節 共済費 市町村職員共済組合負担金	9,714	10,145

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

**農業振興運営事業**

【 農水課 】

【 総合計面上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 農業従事者等

意図 農業施策上必要な協議調整や事業を行い、農業経営の安定と農産物の安定供給を図るため。

効果 農業経営の安定と農産物の安定供給

【 事業の内容 】

- ・ 農業者・関係団体等から組織する協議会において、鎌倉の農業振興について協議・検討を行った。
- ・ さがみ農業協同組合に鎌倉ブランド事業や秋の収穫まつり事業などに係る補助金を交付し、農業の振興を図った。
- ・ 人・農地プラン(地域農業マスタープラン)に基づく、農業の担い手の確保、遊休農地の解消及び国の施策に基づく担い手の育成・支援のための制度の円滑な運用を図った。
- ・ 農業振興地域の整備に関する法律に基づき策定した農業振興地域整備計画の見直しについては、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,718	7,175	4,768	562	1,845
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	農業委員選定委員会委員報酬 4人	0	42	
7節	臨時的任用職員賃金	820	683	
8節	鎌倉市農業振興協議会委員等報償費	201	108	
11節	消耗品費	85	40	
13節	農業振興地域整備計画見直し業務委託料(翌年度への繰越明許費)	2,344	1,154	
	地産地消推進パンフレット作成委託料	93	93	
19節	農業関係団体負担金	198	196	
	農業振興事業費補助金	2,450	2,450	
	新規就農者確保支援事業交付金	1,500	0	
	環境保全型農業直接支援事業交付金	25	0	
	農業経営基盤強化資金利子補給金	2	2	



(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

**市民農園事業**

【 農水課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち  
 分野 産業振興  
 施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 市民

意図 市民が野菜及び草花の栽培を通じて自然と触れ合い、農業への親しみ及び理解を深める機会を提供するため。

効果 市民が農作業を行うことにより、農業への理解が得られるとともに、農地のレクリエーション機能の活用が図られる。

【 事業の内容 】

- ・大船地区市民農園について、引き続き維持管理を行った。
- ・土地所有者が開設する市民農園の相談や支援を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,727	1,727	1,001		726
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
8節	市民農園耕作指導報償費		514	504
13節	市民農園草刈等業務委託料		258	244
	市民農園區画整備業務委託料		955	253

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

**水産業振興運営事業**

【 農水課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 水産関係団体との連携を図るとともに、栽培漁業の推進などにより、漁業経営の安定化を図り、地域に即した漁業の振興を図るため。

効果 つくり育てる漁業の推進を支援することにより、水産業の振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 漁業協同組合への補助金の交付、各種水産関連団体への参加等により、水産業の振興を図った。
- ・ 水産業振興のための新たな施策の検討を漁業者等と行ったが、具体的な施策の提案には至らなかったため、漁業者・関係団体等で組織する協議会については、開催しなかった。
- ・ 台風による漁具倉庫等の被害に対する見舞金を支給した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,998	6,848	6,575		273
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	鎌倉市水産業振興協議会委員報償費		126	0
11節	消耗品費		79	16
19節	神奈川県水難救済会等負担金		300	300
	漁業施設等災害見舞金		500	2,350
	鎌倉漁業協同組合事業費補助金		3,493	3,409
	腰越漁業協同組合事業費補助金		500	500

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

**漁港施設管理事業**

【 農水課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 腰越漁港施設の良好な維持管理を行うため。

効果 円滑な漁業活動の推進を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 漁港施設維持運営計画に基づき、漁港施設の維持管理を行った。
- ・ 腰越海岸の飛砂防止のための海浜整地業務や、必要な漁業施設整備を行った。
- ・ 漁港施設の長寿命化や更新コストの平準化及び縮減を図るため、機能保全計画を策定した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
25,384	15,234	13,176		2,058
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	漁港施設等維持修繕料		500	194
13節	腰越海岸海浜整地業務委託料		2,117	1,836
	腰越漁港機能保全計画策定業務委託料		22,767	10,584
	腰越漁港フェンス設置業務委託料		0	562
<主な特定財源>				
	・国県支出金			5,292

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

**鎌倉地域漁港対策事業**

【 農水課 】

※重点事業(事業CD:6-1-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 鎌倉地域の漁港建設について検討するとともに、漁業者の就労環境の改善、漁船の安全確保、台風等の災害対策などの当面の支援策を実施するため。

効果 当面の支援策の実施により、鎌倉地域における漁業の安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 将来的な漁港整備について検討した。
- ・ 台風等の災害対策や漁業者の就労環境の改善を図るための支援施設の整備に向けた、関係者との協議が調わなかったことから、基礎調査や用地・斜路等の基本設計等の実施を見送り、新たに水産庁等関係者との協議を行うための資料を作成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
34,971	3,587	497		3,090
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	土質調査業務委託料		5,249	0
	地形測量業務委託料		1,922	0
	深浅測量業務委託料		2,884	0
	導入施設等詳細検討支援業務委託料		3,586	0
	用地・斜路等基本設計業務委託料		21,330	0
	関係者協議資料作成業務委託料		0	497

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 5 商工総務費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工運営事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち  
分野 産業振興  
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 商工業の振興、物産振興を図るため。

効果 産業の維持、発展と活力あるまちの創出を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 商工事務事業に係る庶務的業務を行った。
- ・ 萩市、上田市、足利市及び鎌倉市の特産品を一堂に集め、それぞれの物産と観光を市民に紹介する姉妹都市物産展を開催した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,692	2,839	2,751		88
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 2人		2,057	2,057
9節	事務補助嘱託員費用弁償		51	192
11節	消耗品費		113	40
13節	姉妹都市物産展設営等委託料		402	402
	姉妹都市物産展仮設電源設置等委託料		60	60
	姉妹都市物産展紙看板作成委託料		9	0

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 5 商工総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

経営企画部市民相談課(消費生活担当)

市民活動部観光商工課(商工担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	59,226	52,006
・ 2節 給料 一般職	25,207	23,892
一般職職員 6人		
再任用(短時間) 1人		
・ 3節 職員手当等	24,307	18,834
扶養手当	810	733
地域手当	4,051	3,842
通勤手当	1,102	739
超過勤務手当	5,385	1,289
管理職手当	987	986
期末勤勉手当	10,786	10,004
住居手当	821	831
児童手当	365	410
・ 4節 共済費	9,712	9,280
市町村職員共済組合負担金	8,510	8,131
社会保険料	1,202	1,149

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

中小企業支援事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 中小企業者等

意図 市内の中小企業者の健全な発展及び振興を図るため。

効果 安定的な事業経営・新規事業展開の実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・市の制度融資を実行するための原資となる資金を金融機関へ預託した。
- ・制度融資を利用した際に支払う信用保証料について、その一部を補助することにより、負担の軽減を図った。
- ・経営安定資金融資を利用した際に支払う利子について、その一部を補助することにより、負担の軽減を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
508,700	508,700	507,115		1,585
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
19節	信用保証料補助金 106件		7,700	6,664
	経営安定資金融資利子補給金 33件		1,000	451
21節	中小企業融資預託金		500,000	500,000
	預託先 4金融機関			
	融資件数 79件			
	融資金額 294,000千円			

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

**商工会議所助成事業**

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 事業者等の安定的な経営を確保し、商工業の振興と総合的な改善・発達を図るため。

効果 地域産業の振興と活力あるまちの創出を図る。

【 事業の内容 】

- ・商工業の総合的な改善・発達と社会一般の福祉の増進を目的とする商工会議所の運営及び事業に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,667	14,667	14,667		0
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節	商工会議所運営費補助金		6,935	6,935
	商工業振興事業等補助金		553	553
	中小企業経営支援事業補助金		7,179	7,179



(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

**商店街振興事業**

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち  
分野 産業振興  
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 商店街等

意図 商店街が行う各種事業に対して支援を行い、商店街の活性化を図るため。

効果 商店街を支援することにより、まちの活性化と地域産業の振興の実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 専門家の助言を必要とする商店街に対してアドバイザーを派遣し、助言・指導を行った。
- ・ 鎌倉市商店街連合会の組織強化と活性化を支援した。
- ・ 商店街団体の街路灯及び電飾アーチの電気料金の一部を助成した。
- ・ 商店街団体が実施する売上の増加が見込まれる事業、地域住民との交流が見込まれる事業等に要する経費の一部を助成した。
- ・ 商店街団体が実施する共同施設の設置に要する経費の一部を助成した。
- ・ モデル商店街が実施する整備事業に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
25,448	24,761	22,993		1,768
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	商店街アドバイザー謝礼		100	50
19節	商店街連合会補助金		1,710	1,710
	商店街街路灯等維持管理費補助金		4,000	3,808
	商店街活性化事業費補助金		5,159	3,082
	商店街共同施設設置費補助金		5,974	5,838
	モデル商店街整備事業費補助金		8,505	8,505

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

**商工業振興事業**

【 商工課 】

※重点事業(事業CD:6-1-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 創業支援、新規に立地する企業に対する支援、市内における企業の設備投資及び中小企業者の経営革新に対する支援等を行い、商工業の振興を図るため。

効果 商工業の持続的な発展と、活力あるまちの創出を図る。

【 事業の内容 】

- ・地域の資源を活用して創業する事業や新しい商品・技術の開発、サービスの提供を行う事業に要する経費の一部を助成した。
- ・市内事業者が情報発信・交流することができるサイトを運営した。
- ・商工業振興施策を周知するためのリーフレット等を作成した。
- ・企業誘致活動の推進を図る協議会に加入し、情報の収集及び発信並びに関係機関との連携を図った。
- ・公益財団法人神奈川産業振興センターが実施する経営アドバイザー派遣事業の利用者が支払う費用の一部を助成した。
- ・市内事業者が実施する地域及び地球環境との共存・共生を図るための施設整備事業に要する経費の一部を助成した。
- ・中小企業者が実施する人材育成事業、産業財産権取得事業、展示会等出展事業の経営革新事業に要する経費の一部を助成した。
- ・企業が市内に立地する際に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
51,497	14,497	8,797		5,700
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	商工業元気アップ事業選定委員会委員報酬 4人		47	42
8節	商工業元気アップ事業フォローアップ診断謝礼		50	50
13節	企業情報発信・交流サイト運営委託料		778	778
	商工業振興施策リーフレット作成等委託料		2,000	813
19節	神奈川県企業誘致促進協議会負担金		41	41
	商工業元気アップ事業費補助金		2,000	1,000
	経営アドバイザー派遣事業補助金		81	76
	環境共生施設整備費補助金		15,000	4,205
	経営基盤強化事業費補助金		1,500	1,328
	企業立地整備費等補助金		30,000	464

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

**公衆浴場助成事業**

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 公衆浴場業者

意図 公衆浴場の健全な運営を支援し、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上に努めるため。

効果 公衆浴場業者を支援することにより、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上・増進に繋がり、更には地域におけるコミュニティの場の創出を図る。

【 事業の内容 】

・ 公衆浴場の設備の整備に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
400	400	400		0
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節	公衆浴場設備整備費補助金		400	400

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

**伝統鎌倉彫振興事業**

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 伝統鎌倉彫事業協同組合

意図 鎌倉で唯一「伝統的工芸品」として指定されている鎌倉彫の高度な技術の伝承と地場産業としての振興を図るため。

効果 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う各種事業を支援することにより、鎌倉彫産業の振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉彫振興事業所の維持管理を行った。
- ・ 鎌倉彫振興事業所の耐震改修工事を行った。
- ・ 伝統工芸品産業の振興を図る団体に加入し、情報収集を図った。
- ・ 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う鎌倉彫創作展、小・中学生の体験教室等に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
34,779	24,574	24,291		283
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	鎌倉彫振興事業所光熱水費		357	264
	鎌倉彫振興事業所維持修繕料		200	15
12節	鎌倉彫振興事業所消防用設備保守点検手数料		25	23
13節	鎌倉彫振興事業所警備委託料		139	137
	鎌倉彫振興事業所耐震改修工事監理業務委託料		3,132	2,171
15節	鎌倉彫振興事業所耐震改修工事請負費		28,545	19,300
19節	伝統的工芸品産業振興協会負担金		40	40
	伝統鎌倉彫振興事業補助金		2,341	2,341
<主な特定財源>				
	・国県支出金			723
	・地方債			15,700

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 15 消費生活対策費

◎消費者対策 ○消費者施策の推進

**消費者自立支援事業**

【 市民相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち  
分野 消費者対策  
施策の方針 消費者施策の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 消費者被害を未然に防ぐなどの啓発を行うとともに、商品・サービスの購入に係る苦情を受けるため。

効果 消費者被害防止、食の安全などの情報を市民に向けて伝え、また消費者の苦情相談に対し、あっせん、助言、調停などを通じ被害の救済を図ることができる。

【 事業の内容 】

- ・消費者被害を未然に防ぐため、消費生活講座、移動教室や広報紙への掲載などによる啓発を行った。
- ・消費生活相談員による消費生活に関する苦情相談、助言を行った。なお、消費生活紛争調停委員会の調停に付する案件はなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,723	14,723	13,330		1,393
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	消費生活相談員報酬 7人		11,721	11,039
	消費生活委員会委員報酬 8人		164	82
	消費生活紛争調停委員会委員報酬		90	0
8節	移動教室、講座講師等謝礼		475	465
	消費生活相談員助言報償費		300	150
9節	消費生活相談員費用弁償		1,204	897
11節	消耗品費		168	58
	印刷製本費		244	283
12節	電信料		37	37
13節	消費生活相談員助言委託料		300	300
19節	消費生活相談員研修負担金		20	19
<主な特定財源>				
	・国県支出金			3,063

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 5 観光総務費

◎観光 ○地域が一体となった観光振興の推進

**観光運営事業**

【 観光課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 地域が一体となった観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 「住んでよかった、訪れてよかった」まちづくりに取り組むため。また、他の自治体と連携し、広域的な観光振興を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 第3期鎌倉市観光基本計画の推進及び進行管理を行った。
- ・ 他の自治体・関係団体との連携により、パンフレットの作成等広域観光の情報発信や情報交換等を行った。
- ・ 観光施策の推進に必要な経費に充てるため、寄附金による収入確保を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,813	7,785	6,715		1,070
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 2人		3,085	2,056
	観光情報発信等嘱託員報酬 1人		1,296	1,296
	鎌倉市観光基本計画推進委員会委員報酬 7人		100	44
7節	臨時的任用職員賃金		750	618
9節	非常勤嘱託員費用弁償		450	42
11節	消耗品費		200	185
13節	観光振興シンポジウム等開催業務委託料		300	300
	寄附金収納代行業務委託料		162	0
	鎌倉市観光施設整備事業寄附PR業務委託料		0	108
19節	三浦半島観光連絡協議会負担金		1,000	1,000
	全国足利氏ゆかりの会総会開催地負担金		900	485
	神奈川県観光振興対策協議会負担金		210	210
	鎌倉藤沢観光協議会負担金		180	180
	神奈川県観光協会負担金		90	90
	北条五代観光推進協議会負担金		50	50
	全国足利氏ゆかりの会負担金		40	50
22節	物損事故補償金		0	1

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 5 観光総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

市民活動部観光商工課(観光担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	51,645	67,236
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 7人	20,380	25,023
・ 3節 職員手当等	23,297	32,135
扶養手当	1,410	1,268
地域手当	3,402	4,092
通勤手当	596	642
超過勤務手当	5,528	11,638
休日給	201	240
管理職手当	987	986
期末勤勉手当	9,052	11,576
住居手当	1,341	668
児童手当	780	1,025
・ 4節 共済費 市町村職員共済組合負担金	7,968	10,078

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光都市としての質の向上

**観光振興事業**

【 観光課 】

※重点事業(事業CD:6-2-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち  
 分野 観光  
 施策の方針 観光都市としての質の向上

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 多様な観光プログラムと最新の観光情報を提供するとともに、市民・事業者のホスピタリティの向上と観光客のモラルの向上を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ かまくら四季のみどころや外国語観光マップ等の充実を図り、観光客への適切な情報提供を行った。
- ・ 外国人観光客の増加への対策として、外国語版ホームページの更新や外国語ガイド活動の支援の強化に取り組むとともに、外国人観光客に向けてマナーを啓発する媒体として手拭いを作成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,526	21,848	18,122		3,726
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	外国語版パンフレット原稿翻訳謝礼		120	0
11節	印刷製本費		2,135	1,617
13節	外国語版ホームページ更新等業務委託料		4,229	4,767
	外国語版パンフレット作成業務委託料		2,948	1,773
	観光マナー等周知啓発パンフレット作成業務委託料		2,478	1,171
	観光マップ「鎌倉」作成業務委託料		1,199	1,021
	かまくら四季のみどころ編集業務委託料		1,156	1,136
	外国語版Wi-Fiスポットマップ作成業務委託料		486	0
	観光ポスター作成業務委託料		454	0
19節	外国語ガイド活動支援負担金		4,972	4,972
	外国語ガイド研修負担金		2,600	916
	観光情報サイト事業負担金		300	300
	外国文化・宗教対応支援事業負担金		299	299
	観光案内図作成事業負担金		150	150



(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○安全で快適な観光空間の整備

**観光案内所運営事業**

観光課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 安全で快適な観光空間の整備

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光案内業務を通じて観光客の利便性向上を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

・ JR鎌倉駅東口の観光案内所の運営を委託し、観光客に対し適切な情報提供を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
22,627	22,627	22,601		26
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
12節	電信料		110	98
13節	観光案内所業務委託料		20,450	20,450
14節	観光案内所ブース賃借料		1,944	1,944
	観光案内所デジタルサイネージ使用料		63	62
19節	観光案内所電気使用料負担金		60	47

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○安全で快適な観光空間の整備

**観光施設整備事業**

観光課

※重点事業(事業CD:6-2-2-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち  
 分野 観光  
 施策の方針 安全で快適な観光空間の整備

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光基盤施設を整備し、観光客が安全で快適に観光できる受入環境の整備を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・観光客の誰もが安全で快適に観光できるように、観光案内板等の新設・改修・修繕や、公衆トイレの改修・修繕、ハイキングコースの安全確保等観光客の受入環境の整備を行った。
- ・東京オリンピック・パラリンピックの開催を視野に入れ、外国人観光客の利便性向上を目指し、屋内型Wi-Fi接続設備の設置補助や屋外型Wi-Fi接続設備の維持管理を行った。
- ・民間が行う公衆トイレの新設に対する補助金については、事前調整を行ったが申請には至らなかった。
- ・前年度からの繰越明許費により、妙本寺公衆トイレ改築工事を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
79,376	76,503	66,425		10,078
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	消耗品費	100	39	
	光熱水費	1,261	1,153	
	鶴岡八幡宮裏公衆トイレ修繕料	25,758	23,775	
	公衆トイレ等維持修繕料	2,000	3,976	
12節	電信料	923	830	
	公衆トイレし尿処理手数料	1,700	1,177	
	備品倉庫消防設備点検手数料	13	13	
13節	極楽寺公衆トイレ改築工事設計・地質調査業務委託料	5,649	0	
	本覚寺公衆トイレ改築工事設計・地質調査業務委託料	0	4,764	
	本覚寺公衆トイレアスベスト含有調査業務委託料	0	95	
	観光案内板等作成委託料	1,345	362	
	鎌倉ものがたり一色先生の足跡板作成設置業務委託料	1,000	540	
	外国人観光客向け観光案内QRコード作成委託料	1,655	0	
	七里ガ浜ライブカメラ用電源引込柱設置等委託料	0	499	
	大仏前駐車場及び由比ガ浜大通り公衆トイレ清掃業務委託料	1,305	1,777	
	ハイキングコース等観光施設整備業務委託料	1,000	715	
	屋外型Wi-Fi接続設備保守委託料	855	855	
	妙本寺公衆トイレ改築工事監理業務委託料(前年度からの繰越明許費)	0	1,253	
14節	由比ガ浜大通り公衆トイレ賃借料	1,102	1,102	
	屋外ライブカメラ等賃借料	140	233	
15節	妙本寺公衆トイレ改築工事費(前年度からの繰越明許費)	0	21,751	
19節	妙本寺公衆トイレ水道加入負担金	820	815	

公衆トイレ電気・水道使用料等負担金	525	376
ハイキングコースパトロール事業負担金	225	225
公衆トイレ建設工事費等補助金	30,000	0
屋内型Wi-Fi接続設備整備補助金	2,000	100

<主な特定財源>

・国県支出金		1,481
・地方債		15,700

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○地域が一体となった観光振興の推進

**観光振興支援事業**

【 観光課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 地域が一体となった観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光事業者、観光団体、市民・市民団体等様々な観光主体が一体となり、地域全体で観光振興を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・本市の観光振興の充実を図るため、鎌倉花火大会、鎌倉ビーチフェスタ、俳句&ハイク等に負担金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,069	12,069	12,069		0

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

19節 鎌倉花火大会実行委員会負担金	5,734	5,734
主要観光行事安全対策負担金	4,750	4,750
鎌倉ビーチフェスタ事業負担金	1,045	1,045
俳句&ハイク事業負担金	540	540

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○地域が一体となった観光振興の推進

**観光協会支援事業**

【 観光課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 地域が一体となった観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 鎌倉市観光協会・観光客等

意図 様々な観光主体のネットワークの中心となり、観光宣伝と観光客誘致を行う鎌倉市観光協会の支援を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・本市の観光振興の充実を図るため、鎌倉市観光協会の運営や鎌倉まつり、薪能等の事業に対する支援を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
0	46,684	46,683		1

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

19節 鎌倉市観光協会運営費等補助金

0 46,683

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 15 海水浴場費

◎観光 ○安全で快適な観光空間の整備

**海水浴場運営事業**

【 観光課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 安全で快適な観光空間の整備

【 事業の目的 】

対象 海水浴客等

意図 海水浴場の公衆衛生、危険防止及び秩序保持を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・海水浴場開設に必要な施設・設備を整備した。
- ・なぎさの整地、監視業務等を実施し安全確保に努めた。
- ・安心して快適な海水浴場を実現するため、警備員の配備や啓発看板の設置を行った。
- ・誰もが楽しめる海水浴場を目指し、子ども向け遊具や障害者用仮設トイレを設置した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
64,423	64,423	64,054		369
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		267	239
	燃料費		14	0
	印刷製本費		100	92
	光熱水費		15	10
12節	電信料		141	106
13節	海水浴場監視業務等委託料		28,587	30,366
	海水浴場等警備業務委託料		12,929	12,848
	砂防柵設置・撤去及びなぎさ整地業務委託料		5,378	5,368
	放送設備及び放送塔設置委託料		2,227	2,227
	海水浴場遊具設置運営業務委託料		1,500	0
	コースロープ設置及び撤去業務委託料		1,429	1,429
	仮設木橋設置等委託料		1,242	1,242
	防犯灯及び監視所電灯配線設置等委託料		897	897
	海水浴場水道管敷設等委託料		605	605
	仮設木橋材料保管・運搬業務委託料		577	577
	看板作成委託料		315	29
	海水浴場開き式会場設営等委託料		162	119
	海水浴場水質調査業務委託料		83	83
	海水浴場関連廃棄物処理委託料		44	44
14節	監視所・仮設トイレ等賃借料		7,431	7,430
19節	海水浴場監視業務用電気・水道使用料負担金		480	343

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎防災・安全 ○地震対策・風水害対策の充実

**がけ地対策事業**

【 総合防災課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 地震対策・風水害対策の充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民の保護を図るため。

効果 防災工事を施工し市民の保護を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 既成宅地におけるがけ崩れや土砂の流出等による災害の発生を防ぐため、防災工事費及び伐採工事費の一部を助成した。
- ・ 急傾斜地崩壊危険区域の指定の促進を図り、県が行う急傾斜地防災工事事業費の約2割を負担した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
98,586	95,086	72,077		23,009
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 2人		2,057	2,056
9節	事務補助嘱託員費用弁償		300	111
11節	消耗品費		590	589
19節	急傾斜地防災工事負担金		61,260	47,010
	神奈川県治水砂防協会等負担金		229	229
	既成宅地等防災工事費補助金		34,000	22,034
	既成宅地等防災工事費利子補給金		50	0
21節	既成宅地等防災工事費融資預託金		50	48
22節	既成宅地等防災工事資金賠償金		50	0

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎防災・安全 ○危機管理対策

**放射性物質測定事業**

【 浄化センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 危機管理対策

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 放射性物質の測定を行い、市民生活の安全を図るため。

効果 給食食材等の放射性物質の測定を行うことにより、市民生活の安全を確保する。

【 事業の内容 】

・ 学校や保育園の給食食材等の放射性物質を測定した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,629	3,629	3,066		563
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
7節	放射性物質測定事務臨時的任用職員賃金		2,289	2,148
11節	放射性物質測定用消耗品費(液体窒素等)		520	520
	放射性物質測定装置修繕料		463	42
13節	放射性物質測定装置点検委託料		357	356



(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

**道(水)路調査事業**

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち  
 分野 道路整備  
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な市民生活の基礎となる道水路整備を的確に行うための道水路の境界確定を行うほか、狭あい道路を拡幅整備することにより、防災・交通等都市機能の向上を図るため。

効果 道水路との境界が未確定の箇所をなくし、市内全域の道路・水路の管理区域を確定することで的確な整備・管理を行うとともに、道路の後退用地を確保し、拡幅することで、安全で住みよいまちを実現する。

【 事業の内容 】

- ・境界確定申請に基づき現地調査を実施した。測量委託業者を選定し、土地所有者との立会を行い境界の確定後、境界確定図を作成した。
- ・市道の狭あい道路拡幅整備事業の申請を受け、測量業務を行い、道路用地を取得した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
68,050	70,365	68,268		2,097
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 2人		2,057	2,056
7節	土地境界確定図交付事務等臨時的任用職員賃金		1,220	1,202
9節	事務補助嘱託員費用弁償		125	71
11節	消耗品費		891	669
	印刷製本費		1	0
12節	手数料		0	2
13節	境界確定立会等業務委託料		36,733	38,345
	境界立会84回、打合協議12回、石標埋設26本、金属標埋設42枚 4級基準点測量(伐採なし)3,381.6m及び334点、同(伐採あり)312.1m 及び49点、境界点測量372点、確定図作成63,551.8㎡外			
	狭あい道路拡幅整備事業境界確定立会等業務委託料		11,640	11,970
	境界立会40回、打合協議1回、石標埋設11本、金属標埋設1枚 4級基準点測量(伐採なし)588.3m及び93点、同(伐採あり)0m及び0点 境界点測量85点、確定図作成18,171.8㎡外			
14節	電子複写機賃借料		383	390
17節	狭あい道路拡幅用地等購入費		15,000	13,563
<主な特定財源>				
	・国県支出金			3,304

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

**道路台帳整備事業**

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路法で調製及び保管が義務付けられている道路台帳の整備を行い、道路管理上の基礎的  
事項を総括して把握するため。

効果 良好な道路管理が可能となり、住民サービスの向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・道路状況の経年変化に伴う道路台帳の補正や認定路線網図の補正を行った。
- ・亡失や位置ずれ等が生じた既存境界点や基準点の復元等及び開発等における境界点の設置を行った。
- ・道路及び水路等の境界確定図等を管理・交付するための土地境界確定図システムを運用した。
- ・境界復元や開発等の境界設置に使用する境界杭等を購入した。
- ・地籍調査事業(官民境界等先行調査)は、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
78,406	78,406	52,279	20,672	5,455
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
7節	法定外公共物所管事務等臨時的任用職員賃金		2,612	2,535
11節	消耗品費		673	658
13節	境界杭復元等業務委託料		37,775	32,816
	4級基準点測量3,957.5m及び312点、石標埋設復元102本			
	金属標埋設復元169枚、金銀埋設復元251本			
	境界点復元測量580点、地形測量9,228.5㎡、検査探索2,295点外			
	道路台帳補正及び認定路線網図作成等業務委託料		11,243	11,232
	基準点機能回復測量業務委託料		1,037	645
	土地境界確定図管理システム保守業務委託料		1,205	1,205
	地籍調査事業測量等業務委託料(翌年度への繰越明許費)		20,672	0
14節	土地境界確定図管理システム賃借料		3,189	3,188

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

**道路施設管理事業**

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路機能を良好に保持するため。

効果 多様化する生活環境や市民等の安全性・快適性の向上を図るため、常に良好で円滑な道路機能の保持を図る。

【 事業の内容 】

・道路利用者の安全性・快適性を保ち良好で円滑な道路機能を保持するための業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
124,801	122,466	107,871		14,595
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		373	366
	燃料費		1	0
	光熱水費		9,280	8,183
	道路管理施設維持修繕料		2,028	2,028
12節	電信料		400	393
	路上放置自動車リサイクル等手数料		26	11
	道路賠償補償等保険料		880	879
13節	道路維持業務委託料		16,133	4,533
	鎌倉駅通抜地下道清掃業務委託料		285	285
	鎌倉駅通抜地下道排水設備ポンプ制御盤装置保守点検及び水槽清掃業務委託料		148	147
	鎌倉駅通抜地下道排水ポンプ・ディーゼルエンジン保守点検業務委託料		50	50
	看板作成業務委託料		195	194
	路上放置自動車処理業務委託料		10	0
	大船駅監視設備保守管理業務委託料		648	648
	大船駅管理施設警備監視業務委託料		15,689	13,233
	大船駅ペDESTリアンデッキ等清掃業務委託料		3,553	3,065
	大船駅エレベーター等設備保守管理業務委託料		9,277	9,277
	北鎌倉隧道の通行禁止に伴う歩行者誘導業務委託料		13,422	13,357
	信号機表示板設置業務委託料		6,613	6,595
14節	大船駅西口ペDESTリアンデッキ用地賃借料		1,542	1,542
	大船駅西口公共広場用地賃借料		40,639	40,639
18節	軽貨物自動車購入費		1,388	1,056
19節	神奈川県道路利用者会議等負担金		213	213
22節	仮復旧等補償金		1	0
	道路事故賠償金		2,000	1,176
27節	自動車重量税		7	1

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

**街路照明灯事業**

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活を送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 夜間等の通行車両や市民等の安全確保のため。

効果 道路の街路照明灯の良好な維持管理を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 既存の街路照明灯の維持修繕等を行い、市民が安全な生活を送れるまちづくりを図った。
- ・ 安全な通行を確保するために街路照明灯の設置整備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
22,753	22,773	22,552		221
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	市内街路照明灯電気料		15,051	15,034
	街路照明灯維持修繕料		2,833	2,829
13節	街路照明灯設置業務委託料		300	121
14節	LED街路照明灯賃借料		4,569	4,568

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

**職員給与費**

職員課

【 対象となる職員 】

防災安全部総合防災課(がけ地対策担当)

都市調整部(都市調整課風致担当を除く)

都市整備部のうち都市整備総務課・道水路管理課・建築住宅課(住宅担当を除く)・作業センター

【 職員給与費 】

(単位:千円)

＜支出内訳＞	当初予算額	支出済額
職員給与費	812,436	786,062
・ 2節 給料 一般職	379,995	367,018
一般職職員 94人		
再任用(短時間) 6人		
・ 3節 職員手当等	301,394	286,842
扶養手当	13,049	12,349
地域手当	60,705	58,708
通勤手当	11,123	9,583
超過勤務手当	21,217	13,915
休日給	957	164
管理職手当	11,734	11,665
特殊勤務手当	209	1
期末勤勉手当	163,544	162,080
住居手当	14,516	13,701
管理職員特別勤務手当	0	61
児童手当	4,340	4,615
・ 4節 共済費	131,047	132,202
市町村職員共済組合負担金	127,537	129,117
社会保険料	3,164	2,785
雇用保険料	346	300

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

**土木管理運営事務**

【 都市整備総務課 】

※重点事業(事業CD:0-2-1-6)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方  
分野 行財政運営  
施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 部内各課

意図 事務事業の円滑な執行を行うため。

効果 事務事業の進行管理及び連絡調整を行うことにより、安全で快適な生活環境の整備を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 部内の一般会計に係る予算要求、執行管理、決算・監査に関する事項を行った。
- ・ 旅費及び郵便料の執行管理、工事の進行管理など部内の庶務を行った。
- ・ インフラに係る民間事業者の活用の可能性について調査検討等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,635	8,635	7,636		999
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	社会基盤施設マネジメント計画推進支援員報酬		50	0
11節	一般文具等消耗品費		115	95
	印刷製本費		600	89
13節	インフラ管理推進業務委託料		7,870	7,452

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

**作業センター事業**

【 作業センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方  
 分野 行財政運営  
 施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民の安全性、利便性、快適性への迅速な対応を確保するため。

効果 安全で円滑な交通の確保、親しみやすい河川・緑地等の形成を図る。

【 事業の内容 】

・道路、河川、緑地等の維持補修及び側溝、管水路のしゅんせつを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
147,198	147,198	118,381		28,817
<b>&lt;支出内訳&gt;</b>				
			当初予算額	支出済額
11節 補修用消耗品費			1,507	1,387
作業用車両燃料費			2,000	1,466
印刷製本費			5	0
光熱水費			134	99
道路管理施設等維持修繕料			25,950	24,828
備品修繕料			581	65
作業用車両修繕料			4,000	3,203
医薬材料費			38	37
12節 電信料			612	374
消防設備点検手数料			0	17
自賠償保険料			12	11
13節 上町屋資材置場警備委託料			100	100
残土処分委託料			3,868	2,276
カーブミラー設置業務委託料			4,730	3,024
高圧洗浄による排水管渠等しゅんせつ清掃業務委託料			10,681	10,313
道路側溝等しゅんせつ汚泥運搬処分業務委託料			6,318	4,313
道路・河川清掃等業務委託料			46,173	32,087
14節 維持補修用重機賃借料			4,056	3,836
FAX付コピー機賃借料			127	45
16節 補修用原材料費			29,597	25,897
18節 補修用車両購入費			6,372	4,655
19節 法定講習負担金			8	7
22節 補修等補償金			1	0
修繕業務等に伴う賠償金			10	0
27節 自動車重量税			318	341
* 補修用原材料費内訳				
	アスファルト合材	569.2 t	13,418 千円	
	カーブミラー部材	55 面	2,821 千円	
	グレーチング蓋	140 枚	1,205 千円	

U型側溝蓋等	349 枚	1,127 千円
生コンクリート他	1 式	7,326 千円

\* 補修班による維持補修

アスファルト合材舗装工	861 m <sup>2</sup>
アスファルト舗装打換工	260 m <sup>2</sup>
パッチング	2,635 m <sup>2</sup>
カーブミラー新設・補修工	234 件



(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

**設計事務**

【 公的不動産活用課 】

※重点事業(事業CD:0-2-1-7)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方  
 分野 行財政運営  
 施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全・快適な施設利用の促進及び維持管理費用(ランニングコスト)削減を図るため。

効果 安全・快適な施設利用、経済的な施設管理及び建物の長寿命化を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 建築積算システム機器の賃借及び保守を行った。
- ・ 耐震化未対応である市有建築物の耐震診断業務を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,518	16,716	16,631		85
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	設計業務等補助嘱託員報酬 3人		4,320	4,320
9節	設計業務等補助嘱託員費用弁償		83	93
11節	消耗品費		1,696	1,691
	印刷製本費		80	61
13節	耐震診断業務委託料(第24、27、28消防分団器具置場)		3,532	2,549
	耐震診断業務委託料(鎌倉武道館天井)		4,709	3,888
14節	建築積算システム機器賃借料		2,360	2,360
	営繕積算システム賃借料		1,602	1,602
	電子複写機賃借料		136	67
<主な特定財源>				
	・ 国県支出金			957

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎防災・安全 ○地震対策・風水害対策の充実

**建築相談事業**

【 建築指導課 】

※重点事業(事業CD:5-1-1-9)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち  
 分野 防災・安全  
 施策の方針 地震対策・風水害対策の充実

【 事業の目的 】

対象 昭和56年5月31日以前に建築された一戸建ての住宅・2世帯住宅・店舗併用住宅(いずれも在来工法で木造2階建て以下)・マンション等

意図 当該建築物等を所有する市民の安全を図るため。

効果 建築物等の安全性に対する市民の防災意識の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 窓口で耐震相談を受け、希望者に現地耐震診断を行い、診断費用を補助した。
- ・ 木造住宅の耐震改修工事を行った場合の費用を補助した。
- ・ 危険ブロック塀等の撤去及び撤去後にフェンスの設置を行った場合の費用を補助した。特に津波浸水想定区域内を重点的に補助した。
- ・ 共同住宅等への耐震改修アドバイザーの派遣及びマンションの耐震診断費用を補助した。
- ・ 耐震改修促進計画に位置付けられた、耐震診断義務路線に接する一定の高さ以上の建築物の耐震診断費用を補助した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
63,672	36,267	31,776		4,491
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	危険ブロック塀等指導嘱託員報酬 2人		3,456	3,024
8節	耐震改修アドバイザー派遣事業謝礼		102	34
9節	危険ブロック塀等指導嘱託員費用弁償		300	194
11節	消耗品費		100	100
	印刷製本費		100	76
13節	耐震相談業務委託料		357	232
19節	現地耐震診断補助金		2,800	1,450
	木造住宅耐震改修工事費等補助金		12,800	9,300
	危険ブロック塀等対策事業補助金		32,455	12,031
	マンション耐震診断補助金		1,500	1,458
	避難路沿道建築物耐震診断補助金		9,702	3,877
<主な特定財源>				
	・国県支出金			13,331

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

**都市調整運営事務**

【 都市調整課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 計画的な土地利用によるまちづくりの推進のため。

効果 災害に強く、市民の福祉を高め、かつ環境保全に配慮した安全で快適なまちづくりの実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市開発事業における手続及び基準等に関する条例等に関する業務を行った。
- ・ 開発事業等に係る公共施設管理者の同意及び協議に基づく協議書に関する業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,113	6,113	6,054		59
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 2人、同(開発等許認可指導) 1人		5,117	5,091
9節	事務補助嘱託員費用弁償		436	406
11節	消耗品費		548	547
	印刷製本費		2	0
19節	神奈川県八市開発許可研究協議会負担金		10	10

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

開発審査事務

開発審査課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 開発事業者等

意図 開発許可制度等を活用して、安全で住みやすい宅地の造成、秩序ある都市づくりを図るため。

効果 安全で快適な住環境の創造を図る。

【 事業の内容 】

- ・都市計画法及び宅地造成等規制法による各種申請等の受付、審査、許可書の交付を行った。
- ・開発行為、宅地造成工事の完了検査及び検査済証の交付を行った。
- ・神奈川県開発審査会案件を付議した。
- ・開発許可等の違反に対する是正指導及び措置を行った。
- ・租税特別措置法に基づく優良宅地の認定は、申請がなかったため行わなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
357	357	355		2
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	一般文具等消耗品費		201	200
	開発登録簿複写、カラーコピー等印刷製本費		155	155
12節	審査資料等謄写手数料		1	0

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

**建築指導事務**

【 建築指導課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 建築確認申請者等

意図 建築物の安全の確保を図るため。

効果 安心して住める建築物の確保

【 事業の内容 】

- ・ 建築確認申請等に関する事務及び建築基準法に基づく許認可等に関する業務を行った。
- ・ 建築審査会に関する事務及び各種協議会等に関する業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,755	12,801	9,953		2,848
<b>&lt;支出内訳&gt;</b>				
			当初予算額	支出済額
1節	建築審査会委員報酬 3人		224	96
	建築審査会専門委員報酬 3人		96	0
	事務補助嘱託員報酬 1人		1,029	1,028
7節	臨時的任用職員賃金		462	468
9節	事務補助嘱託員等費用弁償		39	57
11節	消耗品費		415	414
	印刷製本費		6	0
	維持修繕料		1	0
12節	特定行政庁団体賠償責任保険保険料		50	50
13節	特殊建築物等定期報告業務委託料		4,963	3,101
	長期優良住宅及び低炭素建築物の認定に係る技術的審査業務委託料		333	0
	建築確認支援システムデータ抽出業務委託料		1,566	1,350
	建築確認台帳システム移行業務委託料		1,826	1,825
	建築審査会等会議録作成業務委託料		204	91
14節	建築行政共用データベースシステム利用料		784	783
	建築確認支援システム機器等賃借料		256	252
19節	神奈川建築コントロール負担金		105	105
	神奈川県建築物震後対策推進協議会負担金		215	156
	日本建築行政会議等負担金		181	177
<b>建築基準法に基づく確認及び許可等状況</b>				
件名	件数			
建築確認	47			
計画適合通知	20			
建築許可	128			
道路位置指定	3			
長期優良住宅認定	201			
低炭素建築物認定	15			

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 5 道路橋りょう総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

**道路橋りょう管理運営事業**

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

・土木積算総合システム保守及び機器等の管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
38,369	42,033	41,097		936
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	消耗品費	447	446	
	印刷製本費	16	0	
	備品修繕料	49	49	
13節	土木積算総合システム保守委託料	7,862	7,862	
	工事資材単価調査業務委託料	366	48	
	マイクロフィルムデータ化業務委託料	276	263	
	鎌倉市土木積算総合システム機器移設等業務委託料	0	3,078	
14節	土木積算総合システム機器賃借料	24,453	24,453	
	市町村システム使用料	4,320	4,320	
	電子複写機賃借料	580	578	

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 5 道路橋りょう総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

**職員給与費**

職員課

【 対象となる職員 】

防災安全部市民安全課(交通安全担当)

まちづくり景観部交通計画課

都市整備部道路課(整備担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	137,586	142,813
・ 2節 給料 一般職	59,097	59,782
一般職職員 17人		
再任用(短時間) 2人		
・ 3節 職員手当等	56,285	59,700
扶養手当	2,619	2,179
地域手当	9,554	9,588
通勤手当	1,760	1,723
超過勤務手当	9,341	13,363
休日給	529	161
管理職手当	1,974	1,958
期末勤勉手当	25,465	25,946
住居手当	3,363	3,342
児童手当	1,680	1,440
・ 4節 共済費	22,204	23,331
市町村職員共済組合負担金	21,401	22,456
社会保険料	760	773
雇用保険料	43	102

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎総合交通 ○交通安全意識の高揚

<b>交通安全対策事業</b>	【 市民安全課 】
-----------------	-----------

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 交通安全意識の高揚

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 交通環境の改善を図り、関係機関等との連携により、交通安全教育をはじめ各種交通安全対策を推進し交通事故による死傷者数の減少を図るため。

効果 交通事故及び死傷者の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市の交通安全を推進するため、市内交通関係機関及び団体相互の連絡を密にし、総合的・効果的な交通安全対策を推進し、交通事故防止を図るための各種事業を実施した。
- ・ スクールゾーンの交通安全対策として、カラー舗装等を実施した。
- ・ 富士見町駅下横断歩道に、交通誘導員を通学時間帯に配置した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
22,231	22,231	20,441		1,790
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	交通安全教育指導員報酬 3人		4,620	4,620
8節	自転車教室指導員謝礼		512	416
9節	交通安全教育指導員費用弁償		413	400
11節	消耗品費		545	515
12節	交通安全教室損害保険料		30	30
13節	スクールゾーン対策業務委託料		6,000	5,798
	富士見町駅下交通誘導業務委託料		786	724
19節	鎌倉市交通安全対策協議会補助金		9,000	7,618
	鎌倉交通安全協会補助金		160	160
	大船交通安全協会補助金		160	160
22節	交通安全教室参加者賠償金		5	0



(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎総合交通 ○駐輪対策の推進

**放置自転車防止事業**

【 市民安全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 駐輪対策の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 自転車等の放置防止により市民等の通行の安全、災害時の緊急活動の円滑化を図るため。

効果 駐輪場整備及び放置自転車等の警告移動を行い、市民等の通行の安全を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 駐輪場への誘導及び放置自転車等に対する警告や、警告後も移動しない放置自転車等の移動を委託した。
- ・ 放置しづらい環境づくりのため、歩行者の通行に配慮したプランター等の設置を委託した。
- ・ 市が管理する駐輪場の巡回管理及び自転車等保管場所の警備を委託した。
- ・ 保管期間が経過した自転車等のうち、リサイクルされないものの処分を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
45,810	42,154	40,641		1,513
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	放置自転車等返還業務嘱託員報酬 9人		8,639	8,729
	事務補助嘱託員報酬 2人		2,057	2,056
9節	事務補助嘱託員費用弁償		135	127
11節	消耗品費		106	105
	印刷製本費		38	38
	光熱水費		663	319
	放置自転車保管場所等維持修繕料		409	240
12節	電信料		103	73
	放置自転車等賠償責任保険料		28	26
13節	放置自転車等廃棄処分業務委託料		551	135
	放置自転車等保管場所警備業務委託料(大船)		87	87
	放置自転車等保管場所警備業務委託料(鎌倉)		130	129
	放置自転車等防止対策看板設置委託料		529	0
	放置自転車等防止対策業務委託料		29,862	26,206
14節	稲村ガ崎自転車等駐車場土地使用料		178	177
	鎌倉駅西口第1自転車等駐車場土地使用料		2,187	2,187
16節	駐輪場設置及び修繕用原材料費		103	7
22節	放置自転車等賠償金		5	0

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

**交通安全施設維持事業**

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な交通を確保し、事故防止を図るため。

効果 交通の円滑化、安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

・道路ラインの補修等を行い交通事故防止を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,672	6,672	5,601		1,071
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	ガードレール塗装等維持修繕料 (延長60.2m 塗装面積51.3㎡)		462	458
	カラー舗装等維持修繕料 (薄層カラー舗装 218.6㎡)		1,709	649
13節	道路ライン等設置業務委託料 (区画線 延長6,989.75m、文字記号 延長1,698.14m、交差点鋳 5箇所)		4,500	4,494
22節	物件移転等補償金		1	0

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

**交通安全施設整備事業**

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な交通を確保し、事故防止を図るため。

効果 交通の円滑化、安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・交通安全施設を改修し、安全で円滑な交通を確保するとともに、通学路の安全対策を実施した。
- ・市道027-000号線外の交通安全対策施設工事(歩道段差等改善)を行った。
- ・市道059-007号線外の交通安全対策施設工事(ガードレール設置)及び市道027-000号線の交通安全施設整備工事(歩道整備)は、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・市道034-066号線の交通安全対策施設工事(側溝蓋改修工、舗装工)を行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、市道055-000号線の交通安全対策施設工事(歩道段差等改善)を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
37,455	41,845	17,751	15,920	8,174
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
15節	交通安全対策施設工事請負費	29,992	17,751	
	内訳			
	佐助一丁目9番先(市道027-000号線)	10,109	9,975	
	歩道段差等改善 12箇所			
	浄明寺六丁目2番先外(市道038-000号線外)	7,819	0	
	大船二丁目20番先外(市道059-007号線外)	8,457	0	
	(翌年度への繰越明許費) ガードレール設置			
	西御門二丁目9番先(市道034-066号線)歩道整備	3,607	3,348	
	舗装工 面積111㎡、側溝蓋改修工 延長16.2m			
	鎌倉山四丁目10番先(市道055-000号線)	0	4,428	
	(前年度からの繰越明許費) 歩道段差等改善 11箇所			
	交通安全施設整備工事請負費	7,463	0	
	内訳			
	常盤863番地先(市道027-000号線)	7,463	0	
	(翌年度への繰越明許費) 歩道整備			
<主な特定財源>				
	・国県支出金			5,059
	・地方債			6,500

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 10 道路維持費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

**道路維持補修事業**

【 道路課 】

※重点事業(事業CD:5-4-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち  
 分野 道路整備  
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

- 道路の維持補修を行い、安全で円滑な交通を確保し、事故防止に努めるとともに、通学路の安全対策を実施した。  
 市道027-000号線外の道路維持修繕工事は、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- 市道037-025号線外、市道055-000号線、市道068-000号線外、市道060-000号線、市道027-000号線及び市道213-002号線外の道路維持修繕工事を行った。
- 前年度からの繰越明許費により、市道043-062号線及び市道060-018号線外の道路維持修繕工事を行った。
- 崩落土砂の撤去を行い、通行の安全を確保した。
- 北鎌倉隧道安全対策検討業務は、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- 新西鎌倉横断歩道橋の横断歩道橋修繕設計業務を行った。
- 市内の緊急輸送路・避難路の路面下空洞調査業務と市道034-000号線の路面試験調査業務を行った。
- 小袋谷歩道橋の交通量調査業務を行った。
- 東日本旅客鉄道株式会社にJR北鎌倉駅仮改札口開設工事等と小袋谷歩道橋剥離対策工事を依頼し、完成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
327,150	352,706	220,533	61,560	70,613
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節 道路維持修繕料		8,835	9,198	
内訳				
山ノ内184番地先(市道049-000号線)(側溝改修工)			1,048	
岡本二丁目78番2先(市道053-101号線)(立入防止柵工)			1,076	
材木座二丁目3番先(市道004-004号線)(側溝設置工等)			1,134	
大船一丁目77番27先(市道209-081号線)(点字ブロック設置工)			594	
梶原二丁目26番1先(市道046-000号線)(歩道部水路蓋補修工等)			939	
西鎌倉一丁目1番5号先(市道023-000号線) (インターロッキングブロック設置・撤去工)			627	
山ノ内933番地先(市道046-084号線)(管渠布設替工等)			558	
岡本二丁目13番先(市道209-016号線)(集水柵撤去設置工等)			1,299	
岩瀬587番地先(市道060-000号線)(取付管補修工)			703	
台一丁目2番先(市道209-090号線)(手摺修繕工等) 外2件			1,220	
13節 崩落土砂処分等業務委託料		10,800	3,018	

内訳			
	今泉一丁目9番先(市道060-000号線)(崩落土砂処分等)	730	
	材木座地内(地下道)(地下道内堆積土砂処分等)	1,080	
	長谷一丁目13番先(市道029-000号線)(崩落土砂処分等)	327	
	坂ノ下18番先(市道010-000号線)(崩落土砂処分等)	493	
	北鎌倉隧道樹木伐採等維持業務委託(その1)	388	
	横断歩道橋修繕設計業務委託料	7,609	6,575
	路面下空洞調査業務委託料	5,162	4,021
	用地取得調査等業務委託料	6,135	0
	大町防災工事積算業務委託料(市道006-044号線)	2,290	1,318
	北鎌倉隧道安全対策業務委託料(翌年度への繰越明許費)	56,560	0
	小袋谷歩道橋交通量調査業務委託料	0	227
	路面試掘調査業務委託料	0	497
14節	公用駐車場土地賃借料	0	900
15節	道路維持修繕工事請負費	185,758	164,679
内訳			
	二階堂872番地先(市道037-025号線外)	25,618	19,862
	舗装工 延長445.3m 面積1,393㎡		
	西鎌倉四丁目20番先(市道055-000号線)	28,026	24,601
	舗装工		
	(車道)延長199m 面積1,315㎡、(歩道)延長176.7m 面積320㎡		
	大町三丁目11番先外(市道006-044号線外)	59,778	0
	大船五丁目9番先外(市道068-000号線外)	28,296	24,509
	舗装工 延長200m 面積1,212㎡、排水工 延長128m外		
	今泉三丁目18番先(市道060-000号線)	19,040	16,380
	舗装工 延長400m 面積1,983㎡		
	大船四丁目9番先外(市道213-002号線外)	20,000	13,824
	人道橋改修工 延長28.6m 面積43.8㎡、舗装工 面積136㎡		
	補助手摺取付工 延長80m		
	御成町11番先(市道027-000号線外)(翌年度への繰越明許費)	5,000	0
	視覚障害者誘導用ブロック等設置工		
	上町屋794番地先(市道055-000号線)		23,045
	舗装工 延長340m 面積2,166㎡		
	長谷五丁目11番先(市道027-000号線)		19,858
	舗装工 延長359.4m 面積2,397㎡		
	笛田三丁目3番先(市道043-062号線)	0	4,835
	(前年度からの繰越明許費) 舗装工 面積70㎡、排水工 延長34.7m		
	今泉二丁目8番先(市道060-018号線外)	0	17,765
	(前年度からの繰越明許費) 舗装工 延長339.1m 面積1,206㎡		
19節	JR北鎌倉駅仮改札開設工事等負担金	44,000	25,352
	小袋谷歩道橋剥離対策工事負担金	0	4,748
22節	物件移転等補償金	1	0

<主な特定財源>

・地方債		127,800
------	--	---------

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 15 道路新設改良費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

**道路新設改良事業**

【 道路課 】

※重点事業(事業CD:5-4-1-4)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境及び生活環境の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・大規模住宅地等の道路改良整備工事を行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、岩瀬今泉周辺の交通対策のための砂押川沿い道路の歩道整備工事を行った。
- ・市道024-000号線の道路改良整備工事は、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
376,271	431,765	314,272	38,390	79,103
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	舗装構成調査業務委託料		5,984	2,368
	(仮称)鎌倉高校坂前交差点改良詳細設計業務委託料		6,318	0
15節	大規模住宅地等道路改良整備工事請負費		363,968	311,904
	内訳			
	今泉台四丁目22番先(市道061-000号線)		19,969	12,963
	舗装工 延長178.1m 面積1,220㎡			
	寺分三丁目9番先(市道047-043号線)		29,776	23,629
	舗装工 延長281.2m 面積1,520㎡他			
	笛田二丁目25番先(市道043-018号線)		32,681	30,095
	舗装工 延長446.8m 面積2,192㎡			
	腰越1588番地先(市道022-016号線)		11,210	9,973
	舗装工 延長137.6m 面積675㎡			
	七里ガ浜東四丁目33番先(市道013-000号線)		48,362	30,513
	舗装工 延長322.2m 面積2,267㎡			
	梶原三丁目27番先(市道046-116号線)		47,034	30,383
	舗装工 延長586.5m 面積3,090㎡			
	鎌倉山二丁目17番先(市道024-000号線)		44,205	0
	(翌年度への繰越明許費)			
	今泉三丁目2番先(市道060-000号線)		53,276	0
	腰越1321番地先(市道055-000号線)		0	11,387
	舗装工 延長160.0m 面積1,134㎡			
	高野18番地先(市道205-162号線)		37,455	33,239
	舗装工 延長320.0m 面積1,876㎡			
	砂押川沿い歩道整備工事		40,000	0
	砂押川沿い歩道整備工事(前年度からの繰越)		0	129,722

22節 物件移転等補償金

1

0

<主な特定財源>

- ・国県支出金
- ・地方債

80,902  
197,600

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 20 橋りょう維持費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

**橋りょう維持補修事業**

【 道路課 】

※重点事業(事業CD:5-4-1-5)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち  
 分野 道路整備  
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 橋りょうの機能保持のため調査点検を行った。
- ・ 滑川4号橋の塗膜の試料採取を行い、成分調査を確認を行った。
- ・ 工事の発注に必要な2橋(廣瀬橋、三橋)の修繕設計を行った。
- ・ 劣化が著しい箇所の補修等により、安全な交通を確保した。
- ・ 前年度から事故繰越した神戸橋の耐震補強等の工事を完了した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
120,207	87,451	73,219		14,232
<b>&lt;支出内訳&gt;</b>				
			当初予算額	支出済額
11節 橋りょう維持修繕料			2,000	392
13節 橋りょう点検調査業務委託料			19,019	12,825
橋りょう既設塗膜試料採取業務委託料			516	386
橋りょう補修修繕設計業務委託料(廣瀬橋)			6,504	5,391
橋りょう補修修繕設計業務委託料(三橋)			10,113	7,318
神戸橋耐震補強積算業務委託料			2,484	3,025
14節 橋りょう長寿命化修繕計画共同システム使用料			654	602
15節 橋りょう維持修繕等工事請負費			78,916	43,280
内訳				
腰越三丁目1番先(神戸橋)耐震補強			71,043	0
十二所919番地先(滑川4号橋)塗装等補修			7,873	8,640
腰越三丁目1番先(神戸橋)(前年度からの事故繰越し)			0	34,640
22節 物件移転等補償金			1	0
<b>&lt;主な特定財源&gt;</b>				
・国県支出金				22,108
・地方債				6,400



(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 5 河川総務費

◎下水道・河川 ○水辺環境の整備・創出・管理

**河川管理運営事業**

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 下水道・河川

施策の方針 水辺環境の整備・創出・管理

【 事業の目的 】

対象 河川維持管理協力団体等

意図 河川管理事業の円滑な推進を図るため。

効果 協力団体と連携し、良好な水辺環境を目指し、親しまれる川づくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・河川の良い環境を維持するため、河川の清掃及び目視による生態系調査等を協力団体に依頼した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,490	1,490	1,469		21
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	河川維持管理協力団体報償費		240	240
11節	消耗品費		21	0
14節	浸水対策排水施設用地土地賃借料		1,229	1,229

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 5 河川総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】  
都市整備部下水道河川課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	30,032	27,387
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 4人	15,367	13,840
・ 3節 職員手当等	11,003	8,640
扶養手当	396	283
地域手当	2,350	2,118
通勤手当	831	472
超過勤務手当	1,210	365
期末勤勉手当	5,041	4,891
住居手当	815	331
児童手当	360	180
・ 4節 共済費	3,662	4,907
市町村職員共済組合負担金	3,115	4,761
社会保険料	380	0
雇用保険料	167	146

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 10 河川維持費

◎下水道・河川 ○水辺環境の整備・創出・管理

**河川維持補修事業**

【 下水道河川課 】

※重点事業(事業CD:5-6-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 下水道・河川

施策の方針 水辺環境の整備・創出・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るとともに、市民等に親しまれる河川づくりを進めるため。

効果 河川護岸の崩壊等を未然に防ぐことや、市民等に親しまれる河川づくりを目指す。

【 事業の内容 】

- ・ 準用河川、普通河川の護岸復旧等を行った。
- ・ 前年度からの繰越分を含め、普通河川滑川(浄明寺五丁目6番先)のブロック積工事を行った。
- ・ 準用河川砂押川(大船一丁目5番先)及び普通河川滑川(二階堂4番地先)の維持修繕工事については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・ 準用河川のしゅんせつを行った。
- ・ 神奈川県河川協会へ参加した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
52,164	38,607	21,651	12,816	4,140
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	河川管理施設維持修繕料	7,956	11,523	
12節	県道復旧にかかる手数料	1	0	
13節	準用河川しゅんせつ業務委託料	2,150	1,199	
	家屋調査業務委託料	1	0	
15節	河川維持修繕工事請負費	42,000	8,875	
	(内訳)			
	普通河川滑川(浄明寺五丁目6番先)(前年度からの繰越明許費含む)	0	8,875	
	準用河川砂押川(大船一丁目5番先)(翌年度への繰越明許費)	5,000	0	
	準用河川小袋谷川(台二丁目2番先)	7,000	0	
	準用河川新川(常盤306番地先)	5,000	0	
	普通河川滑川(二階堂4番地先)(翌年度への繰越明許費)	25,000	0	
19節	神奈川県河川協会負担金	54	54	
22節	地下埋設物移設等補償金	1	0	
	工事等に起因する家屋等損害賠償金	1	0	

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 10 河川維持費

◎下水道・河川 ○水辺環境の整備・創出・管理

**雨水施設維持管理事業**

【 下水道河川課・浄化センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 下水道・河川

施策の方針 水辺環境の整備・創出・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るため。

効果 雨水調整池やゲート類等の雨水排水施設について、良好な状態を保持する。

【 事業の内容 】

- ・ 雨水調整池(玉縄・台・腰越・笛田・ハイランド・岡本・城廻)やゲート類等の雨水排水施設について、良好な状態を保持するため、定期点検等を実施した。
- ・ 雨水調整池のしゅんせつを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
32,205	30,205	22,249		7,956
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,029	1,028
9節	事務補助嘱託員費用弁償		150	55
11節	消耗品費		287	281
	燃料費		26	0
	印刷製本費		20	3
	雨水調整池光熱水費		9,084	6,314
	玉縄調整池水位計等交換修繕料		4,320	3,780
	腰越調整池河川水位計修繕料		1,541	1,540
	雨水施設等修繕料		2,000	2,075
	スルースゲート操作盤修繕料		4,968	0
	雨水調整池管理施設維持修繕料		497	0
	備品修繕料		54	54
12節	電信料		1,149	1,050
	台調整池自家用電気工作物点検等手数料		1,651	1,595
13節	フラップゲート点検委託料		1,046	756
	雨水調整池しゅんせつ業務委託料		2,335	1,685
	玉縄調整池発電機棟建物警備委託料		93	93
	水処理施設等運転管理業務委託料(雨水調整池巡回点検)		1,125	1,125
	玉縄調整池流入ゲート点検業務委託料		225	216
	笛田調整池水位計点検業務委託料		281	275
	笛田調整池排水ポンプ点検業務委託料		324	324

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎歴史環境 ○歴史的風土の保存

<b>風致地区事務</b>	【 都市景観課 】
---------------	-----------

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち

分野 歴史環境

施策の方針 歴史的風土の保存

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市の風致の維持、歴史的風土の保存、緑地の保全を図るため。

効果 「鎌倉」の環境の維持

【 事業の内容 】

- ・ 風致地区内行為許可事務、近郊緑地特別保全地区内行為許可事務及び特別緑地保全地区内行為許可事務を行った。
- ・ 歴史的風土保存区域内行為届出受理事務及び近郊緑地保全区域内行為届出受理事務を行った。
- ・ 歴史的風土特別保存地区に関する許可申請について、神奈川県へ経由事務及び同許可に関する調整を行った。
- ・ 古都保存法の啓発及び歴史的風土特別保存地区での行為許可、制限等について周知を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,637	1,637	1,557		80
<b>&lt;支出内訳&gt;</b>				
			当初予算額	支出済額
1節 事務補助嘱託員報酬 1人			1,029	1,028
9節 事務補助嘱託員費用弁償			87	84
11節 消耗品費			83	83
印刷製本費			114	58
風致地区内標柱維持修繕料			289	269
19節 古都保存連絡協議会負担金			35	35
<b>&lt;主な特定財源&gt;</b>				
・国県支出金				170

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

**緑政運営事業**

【 みどり課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 緑の基本計画に沿った施策展開による計画を実現するため。

効果 緑の基本計画に基づき、種々の施策を展開し、緑豊かな都市環境の形成と市民の安全・快適な生活の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 緑の保全、創造等、緑政の重要事項に対して方向付けを行うため緑政審議会を開催した。
- ・ (仮称)上町屋特別緑地保全地区の都市計画決定に必要な図書作成業務を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,513	5,513	4,855		658
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	緑政審議会委員報酬 15人		306	266
	緑化推進専門委員報酬 1人		408	408
11節	消耗品費		116	107
	印刷製本費		63	59
12節	リサイクル料金等手数料		11	11
	自賠責保険料		28	26
13節	特別緑地保全地区都市計画図書作成業務委託料		2,933	2,668
18節	車両購入費		1,388	1,056
19節	森林協会等負担金		253	253
27節	自動車重量税		7	1

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

**緑地取得事業**

【 みどり課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 緑の基本計画に基づく保全すべき緑地や、特別緑地保全地区内の土地の所有者

意図 都市緑地法に基づく買入れの申出に伴う取得及び法指定前の緑地保全の緊急対応のため。

効果 保全すべき緑地を確保する。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉近郊緑地特別保全地区内における行為の不許可処分に伴う買入れ申出により、都市緑地法第17条に基づき緑地を買い入れた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
176,398	123,098	123,097		1
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	鎌倉近郊緑地特別保全地区不動産鑑定評価業務委託料		844	475
17節	鎌倉近郊緑地特別保全地区土地公有財産購入費		175,554	122,622
<主な特定財源>				
	・国県支出金			67,441
	・地方債			49,600

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

**緑化啓発事業**

みどり課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
 分野 みどり  
 施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 緑の基本計画の周知を図り、市民と連携して緑の環境づくりを推進するため。

効果 緑地等の保全、管理活動を市民と連携して推進し、市域全体を緑豊かにすることにより、これまで確保してきた緑地や都市公園等の機能を高める。

【 事業の内容 】

- ・市民との連携による緑の環境づくりを推進するため、緑の学校、緑のレンジャー等の緑化啓発事業に関する業務を委託した。
- ・敷地が道路に接する部分を新たに緑化する者に補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,613	6,613	5,183		1,430
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	ポスターコンクール優秀賞等報償費		114	56
11節	消耗品費		31	30
13節	緑化啓発に関する業務委託料		3,581	3,581
	<委託業務内容>			
	○緑の学校の企画・運営等 (参加者数=45名 開催回数=10回(延316名))			
	○緑のレンジャー・ジュニアの企画・運営等 (参加者数=50名 開催回数=11回(延337名))			
	○緑のレンジャー・シニアの企画・運営等 (参加者数=17名 開催回数=11回(延132名))			
	○緑のレンジャー自主活動グループの支援・育成等 (参加者数=79名 開催回数=17回(延392名))			
19節	第29回鎌倉市緑化まつり事業負担金		160	35
	まち並みのみどりの奨励事業補助金 (件数=16件 総延長=175.93m)		1,559	1,435
	まち並みのみどりの奨励事業補助金(危険ブロック塀等対策事業分) (件数=1件 総延長=5.6m)		1,168	46



(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

樹林維持管理事業

【 公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 良好な状態の樹林地を保育しようとするため。

効果 樹木の健全な生育と生態系を含む豊かなみどり空間を市民に提供する。

【 事業の内容 】

- ・対象樹林地の枝払いや枯損木・倒木の処理、除間伐などの業務を委託した。
- ・平成29年度は、浄明寺・十二所地区及び大町・材木座地区の2地区を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,000	26,000	15,821		10,179

<支出内訳>

13節 樹林維持管理委託料

当初予算額	支出済額
26,000	15,821

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

**緑地保全事業**

みどり課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
 分野 みどり  
 施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 美観上優れた樹木・樹林・生け垣の指定や、秩序ある市街地形成に必要な樹林地に対し、所有者の同意を得て、緑地保全契約を締結して保全するため。

効果 貴重な歴史的遺産と融合した緑地や豊かな自然環境を保全する。

【 事業の内容 】

- ・ 寄附金を緑地保全基金に積み立てた。
- ・ 保存樹木、樹林、生け垣に対して奨励金を交付し、所有者に対して支援した。
- ・ 市街化区域にある緑地を保全するため、土地所有者と緑地保全契約を締結し奨励金を交付した。
- ・ 緑の基本計画に沿って確保した緑地のうち、荒廃が進む恐れのある樹林地等を質的に向上させるための整備業務を委託した。
- ・ 市が設置した保存樹木等標柱の倒壊事故による物損に対して損害賠償金を支払った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
32,693	32,467	28,556		3,911
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	市民緑地愛護会報償費		30	30
13節	確保緑地の適正整備委託料		3,000	1,836
19節	保存樹林奨励補助金		13,505	12,755
	184件 2,415,825.63㎡			
	保存樹木奨励補助金		619	589
	65件 327本			
	保存生け垣奨励補助金		875	760
	106件 9,280.54㎡			
	緑地保全契約奨励補助金		9,188	8,361
	117件 532,392.72㎡			
22節	保存樹木等標柱倒壊事故損害賠償金		0	313
25節	緑地保全基金新規積立金		1,000	461
	緑地保全基金利子積立金		625	77
	緑地保全基金寄附等積立金		3,851	3,374

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

<b>風致保存会助成事業</b>	【 みどり課 】
------------------	----------

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
 分野 みどり  
 施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉の歴史的景観と豊かな自然環境を後世に伝えるために活動している(公財)鎌倉風致保存会の組織の充実を図り、自主的運営の強化を図るため。

効果 会員(市民等)と連携した緑の環境づくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・ 風致保存会を運営するための補助金を交付した。
- ・ 鎌倉市風致保存基金に積み立てた一般からの寄附金を同会へ寄附金として交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,690	13,690	13,408		282
<b>&lt;支出内訳&gt;</b>				
			当初予算額	支出済額
19節 風致保存会運営費補助金			10,312	10,312
25節 風致保存基金寄附等積立金			1,189	1,548
26節 風致保存会寄附金			1,189	1,548

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

**緑地維持管理事業**

【 公園課 】

※重点事業(事業CD:3-1-2-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 防災に配慮しつつ、樹木伐採等を行うことにより、良好な緑地の維持管理を図るため。

効果 より適確な植生管理を行うことにより良質な樹林地の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 緑地の枝払いや倒木の恐れのある樹木の伐採等を行った。
- ・ 緑地維持管理工事については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
82,867	59,389	35,667	4,925	18,797
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		6	0
	光熱水費		44	41
	管理施設維持修繕料		3,878	601
12節	電信料		44	39
	緑地に関する賠償補償保険等保険料		1,699	1,452
13節	緑地維持管理委託料		48,640	33,434
	常盤山緑地警備委託料		130	100
	緑地維持管理計画策定業務委託料		11,000	0
	樹木調査業務委託料		12,500	0
15節	緑地維持管理工事請負費(翌年度への繰越明許費)		4,925	0
22節	緑地に関する賠償金		1	0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎都市景観 ○良好な都市景観形成事業の推進

**都市景観形成事業**

【 都市景観課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
 分野 都市景観  
 施策の方針 良好な都市景観形成事業の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 景観法の活用により、開発行為や建築行為等に対する景観誘導、市民・事業者への普及・啓発・支援、行政の先導的な都市景観形成事業の推進を図るため。

効果 古都としての風格を基調とし、地域の特性を生かした都市景観を守り、つくり、育てることにより、潤いと安らぎのある快適なまちづくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・ 古都としての風格ある都市景観形成を推進するための調査や助成などを行った。
- ・ 景観計画、景観地区等による良好な景観の形成を推進した。
- ・ 鎌倉市屋外広告物条例の制定を含めた適正な規制・誘導策の検討及び普及啓発を行った。
- ・ 旧村上邸など、景観上重要な建造物等の保全活用を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
31,716	36,810	34,020		2,790
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	景観審議会委員報酬 10人		204	154
8節	景観アドバイザー等報償費		120	68
11節	消耗品費		80	72
	印刷製本費		355	351
	旧村上邸光熱水費		134	64
	維持修繕料		973	797
12節	旧村上邸電信料		54	32
	違反屋外広告物除却協力員ボランティア保険料		20	19
13節	違反屋外広告物運搬処分業務委託料		36	0
	行政刊行物販売委託料		30	8
	旧村上邸警備委託料		479	479
	旧村上邸庭園等管理(樹木管理)作業委託料		1,158	933
	旧村上邸駐車場整備委託料		1,486	0
	屋外広告物管理システム等保守委託料		698	519
	公共サインマニュアル策定業務委託料		9,254	8,991
	旧村上邸耐震診断・保存活用計画策定業務委託料		7,355	3,456
19節	景観重要建築物等補助金		2,750	2,728
	景観形成協議会活動補助金		1	0
22節	違反屋外広告物除却協力員ボランティア保険賠償金		5	0
25節	景観重要建造物等保全基金運用利子積立金		41	1
	景観重要建造物等保全基金寄附等積立金		6,483	15,348

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎生活環境 ○海浜の環境保全

**海浜保全事業**

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 海浜の環境保全

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 海浜の保全と活用を図るため。

効果 樹林地、河川、海浜を一体としたネットワークにおいて海浜の環境と景観の保全を図る。安全で快適に過ごせる空間づくりと海浜の活用を図る。

【 事業の内容 】

- ・海浜保全に係る業務、神奈川県・鎌倉市・藤沢市・茅ヶ崎市サーフ90ライフセービング支援業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
465	465	397		68
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		30	28
	既存車止め等維持修繕料		155	99
12節	諸手続等手数料		5	0
13節	海岸の障害物処分等業務委託料		5	0
19節	サーフ90ライフセービング事業負担金		270	270

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

**都市計画運営事務**

【 都市計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち  
 分野 市街地整備  
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市全域の土地利用・まちなみ

意図 都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって市域の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与するため。

効果 まちづくりの基本理念である「くらしに自然・歴史・文化がいきる古都鎌倉」(鎌倉市都市マスタープランより)を目指す。

【 事業の内容 】

- ・都市計画に関する事項の調査・審議のため都市計画審議会を運営するとともに、都市計画の決定・変更、都市計画事業の認可等の手続を行った。
- ・都市計画関連情報を更新し、都市計画図等の印刷を行い、活用・販売した。
- ・都市計画業務支援システムを活用した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,058	6,058	5,622		436
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	都市計画審議会委員報酬 13人		396	224
	事務補助嘱託員報酬 1人		1,029	1,028
9節	事務補助嘱託員費用弁償		92	38
11節	消耗品費		318	317
	印刷製本費		2,568	2,368
	維持修繕料		1	0
12節	筆耕翻訳料		1	0
13節	都市計画業務支援システム保守業務委託料		454	454
	都市計画関連データ等修正業務委託料		832	832
14節	都市計画業務支援システム用機器等賃借料		357	351
19節	県都市計画実務担当者連絡協議会負担金		10	10

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

**市街地整備運営事業**

【 駅周辺整備課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち  
 分野 市街地整備  
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 旧大船駅周辺整備事務所

意図 旧拠点整備部内の庶務及び施設の維持管理を行うため。

効果 事務事業の進行管理、連絡調整及び適切な施設管理を行うことにより、良好な職場環境の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・旧拠点整備部内の予算要求、執行管理、予算・決算・監査に関する事項を行った。
- ・施設の適正な維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,392	4,392	3,878		514
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,029	1,028
9節	事務補助嘱託員費用弁償		67	60
11節	一般文具等消耗品費		622	345
	車両燃料費		167	142
	光熱水費		746	783
	事務所設備等修繕料		450	390
	備品修繕料		5	0
	車両修繕料		248	102
12節	電信料		274	201
	消防設備点検手数料		17	16
	火災等保険料		82	76
13節	事務所警備業務委託料		76	75
	事務所清掃等業務委託料		177	177
	事務所電話設備撤去作業等業務委託料		0	54
14節	NHK放送受信料		15	15
	ジェイコム湘南受信料		6	6
	電話設備賃借料		164	164
	FAX・コピー複合機賃借料		240	231
	ジェイコム湘南解約手数料		0	6
27節	自動車重量税		7	7



(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

**古都中心市街地整備事業**

【 駅周辺整備課 】

※重点事業(事業CD:5-2-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 豊かな歴史的遺産と良好な自然環境を活かし、市民・来訪者が快適に共存できる風格と活力ある古都鎌倉の顔を再生・創造するため。

効果 鎌倉駅西口駅前広場等の整備を進め、多くの市民・来訪者が快適に共存できる古都鎌倉の玄関口の創出を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉駅西口駅前広場の暫定的整備に向けた、基本設計等を行った。
- ・ 鎌倉駅西口駅前広場の暫定的整備に向けた、権利者との調整及び関係機関等との協議を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
37,656	4,071	3,780		291
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	技術アドバイザー謝礼		357	204
11節	一般文具等消耗品費		100	0
	陽画等印刷製本費		60	23
13節	鎌倉駅西口駅前広場用地不動産鑑定評価意見書作成業務委託料		43	0
	鎌倉駅西口駅前広場用地建物等補償調査算定補正業務委託料		1,167	0
	鎌倉駅西口駅前広場整備基本設計業務委託料		5,680	3,370
	鎌倉駅西口駅前広場整備埋蔵文化財試掘調査仮設工他業務委託料		0	183
17節	鎌倉駅西口駅前広場用地購入費		22,249	0
22節	鎌倉駅西口駅前広場用地建物等補償金		8,000	0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

**深沢地域整備事業**

【 深沢地域整備課 】

※重点事業(事業CD:5-2-1-4)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち  
 分野 市街地整備  
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉駅周辺、大船駅周辺と並ぶ第三の都市拠点の形成を図るため。

効果 全市的な課題や少子高齢化社会に対応したまちづくりが実現する。

【 事業の内容 】

- ・鎌倉市深沢地区と藤沢市村岡地区との広域連携によるまちづくりも見据えつつ、土地区画整理事業の事業スキームの再構築を行い、事業の実現化に向けた方策を検討した。
- ・深沢地域整備事業に係る事業スキームの再構築を行うにあたり、専門家の支援を受け権利者の生活再建策等を立案し、権利者との合意形成を図った。
- ・深沢地域整備事業用地の維持管理を行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、深沢地区土地区画整理事業推進業務委託(交通管理者協議)を行った。
- ・湘南地区整備連絡協議会の運営を行うとともに、市街地整備促進協議会に参加した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
74,688	68,520	68,046		474
<b>&lt;支出内訳&gt;</b>				
			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,029	1,028
	深沢まちづくり実現化検討業務企画等提案審査会委員報酬 3人		0	96
8節	技術アドバイザー謝礼		306	374
9節	事務補助嘱託員費用弁償		69	90
11節	一般文具等消耗品費		419	374
	陽画等印刷製本費		178	0
13節	深沢地区まちづくり実現化方策検討業務委託料		46,926	21,575
	深沢地区まちづくり実現化推進検討業務委託料(リーフレット作成)		0	500
	深沢地区まちづくり実現化推進検討業務委託料(まちづくり方策検討)		0	5,994
	深沢地区土地区画整理事業支援業務委託料		21,543	21,492
	深沢地域整備事業用地管理業務委託料		4,068	3,043
	深沢地区土地区画整理事業推進業務委託料(前年度からの繰越明許費)		0	13,330
19節	湘南地区整備連絡協議会負担金		100	100
	市街地整備促進協議会負担金		50	50
<b>&lt;主な特定財源&gt;</b>				
	・国県支出金			5,169

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

**大船駅周辺整備事業**

【 駅周辺整備課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち  
 分野 市街地整備  
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 「大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想」に基づいて、大東橋周辺、鎌倉芸術館周辺、大船駅南部などの各地区において、都市基盤施設や都市環境の整備を推進するため。

効果 「大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想」に定めた地区の将来像の実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・大東橋周辺、鎌倉芸術館周辺、大船駅南部などの各地区のまちづくりの進捗状況の整理を行った。
- ・「砂押川桜保全再生計画」に基づく、住民主体の保全再生活動の支援を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
446	446	278		168
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	鎌倉芸術館周辺地区まちづくり活動支援等謝礼		60	24
11節	鎌倉芸術館周辺地区まちづくり活動支援等消耗品費		85	0
	陽画等印刷製本費		31	0
13節	砂押川プロムナード枯枝胴ぶき等伐採処分業務委託料		270	254

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

**大船駅西口整備事業**

【 駅周辺整備課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち  
 分野 市街地整備  
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 歩行者と車両分離による安全性の確保などにより、大船駅西口周辺の交通環境などの改善を図るため。

効果 大船駅西口の周辺交通環境などの改善により、市民等の安全性と利便性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・「横浜・鎌倉両市一体整備計画(案)」の廃止を含めた取扱いについて、神奈川県、横浜市と意見交換を行った。
- ・都市計画道路阿久和鎌倉線の整備に向け、関係機関と意見交換を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
32	32	0		32
<b>&lt;支出内訳&gt;</b>				
			当初予算額	支出済額
11節	一般文具等消耗品費		21	0
	陽画等印刷製本費		11	0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

大船駅東口再開発事業特別会計繰出金 【 駅周辺整備課 】

【 事業の内容 】

- ・大船駅東口再開発事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
53,717	36,795	36,795		0

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

28節 繰出金

53,717

36,795

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○道路・交通体系の検討

**交通環境整備事業**

【 交通政策課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち  
 分野 総合交通  
 施策の方針 道路・交通体系の検討

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・市内の交通量を把握し交通対策上の基礎資料とするため、市内主要交差点等において、一般交通量及び渋滞状況調査並びに資料収集を行った。
- ・「パークアンドライド」及び「鎌倉フリー環境手形」について、交通関係事業者との調整を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,546	3,414	3,053		361
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
11節 消耗品費			808	786
印刷製本費			328	292
パークアンドライド案内看板維持修繕料			103	41
13節 交通量調査業務委託料			2,096	1,728
19節 三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟等負担金			211	206

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○道路・交通体系の検討

**交通体系整備事業**

【 交通政策課 】

※重点事業(事業CD:5-3-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 道路・交通体系の検討

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市交通計画検討委員会及び同専門部会を開催し、鎌倉地域の地区交通計画の策定に向け、歩行・居住環境の向上策である歩行者尊重道路の整備に向けた優先順位を決定した。
- ・ (仮称)鎌倉ロードプライシングの法的な条件整理等については、国土交通省の「観光交通イノベーション地域」に本市が選定されたことを受け、同省の動向を注視する必要があることから、「鎌倉市交通計画検討委員会・特別委員会」及び「鎌倉市交通計画検討委員会・特別委員会幹事会」の開催を見送った。
- ・ 平成30年度に予定していた鎌倉地域地区交通計画策定支援業務及び交通需要管理検討業務について、国の動きに連動する必要があることから、平成29年度予算の2月補正にて予算を措置し、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
30,495	54,427	15,475	37,854	1,098
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	交通計画検討委員会委員報酬 20人		732	262
	交通計画検討委員会特別委員会委員報酬		230	0
8節	交通政策専門員報償費		68	17
9節	交通計画検討委員会委員費用弁償		24	0
13節	鎌倉地域地区交通計画策定支援業務委託料(翌年度への繰越明許費)		8,122	7,366
	交通需要管理検討業務委託料(翌年度への繰越明許費)		4,979	0
	交通シミュレーション業務委託料		16,340	7,830
<主な特定財源>				
	・国県支出金			4,105

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○道路・交通体系の検討

**鎌倉駅東口駅前広場整備事業**

【 道路課 】

※重点事業(事業CD:5-3-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 道路・交通体系の検討

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 鎌倉駅東口駅前広場における歩行者の安全な利用空間の改善を図るとともに、公共交通機関の利便性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉駅東口駅前広場について、平成28年度に策定した基本設計に基づき、積算等業務委託を行った。
- ・ 鎌倉駅東口駅前広場実施設計等業務委託については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
36,645	36,778	11,573	24,298	907
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
9節	非常勤嘱託員費用弁償		0	1
13節	鎌倉駅東口駅前広場実施設計等業務委託料(翌年度への繰越明許費)		33,038	8,740
	鎌倉駅東口駅前広場整備工事積算等業務委託料		3,607	2,700
	高額資材等価格調査業務委託料		0	132



(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○公共交通機関の輸送力の向上と利用促進

公共交通支援事業

【 交通政策課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 公共交通機関の輸送力の向上と利用促進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関の輸送力の向上と利用促進を図る。

【 事業の内容 】

- ・鎌倉市移動円滑化基本構想に基づき、公共交通事業者が実施するエレベーター設置について年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,666	16,666	0	16,666	0

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
19節 富士見町駅舎エレベーター設置補助金(翌年度への繰越明許費)	16,666	0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費  
 ◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

**国県道対策運営事務**

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち  
 分野 道路整備  
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市計画法、道路法等に基づき国県道の整備・改良を促進し、良好な道路交通機能等の向上を達成するため。

効果 交通渋滞の緩和、災害時を含む緊急活動の円滑化を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 腰越大船線事業に関する協議・調整を神奈川県等と行った。
- ・ 国・県等が施工する都市計画道路等に関する協議・調整を行った。
- ・ 供用中の国・県道に関する住民要望に対応した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,222	1,222	1,148		74
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,029	1,028
9節	事務補助嘱託員費用弁償		95	43
11節	消耗品費		23	23
	印刷製本費		6	0
14節	会場使用料		3	0
19節	首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会負担金		30	18
	関東国道協会負担金		36	36

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

国県道対策事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の促進を図るため。

効果 神奈川県及び市民等との連絡調整を行うことにより、都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の円滑な実施を図る。

【 事業の内容 】

・都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業に伴う事務事業の円滑な執行を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26	26	26		0

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

11節 一般文具等消耗品費

26

26

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

**道路整備計画等運営事務**

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境の向上及び都市景観等の生活環境の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 神奈川県都市計画街路事業促進協議会に加入し、その活動により都市計画道路の整備の促進を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
75	75	75		0

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

19節 神奈川県都市計画街路事業促進協議会負担金

75

75

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費  
 ◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

**街路樹維持管理事業**

【 公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち  
 分野 道路整備  
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 街路樹の適度な生育等を促し、緑豊かな道路空間の形成とまち並みを整え、市民との協働により適切な管理を行うため。

効果 まち並みを整えるとともに潤いある道路空間を提供し、公園緑地等と連携したみどりのネットワークの形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・街路樹を市民自らが守り育てる活動を行っている街路樹愛護会を支援するため、報償金の支給や花苗の配布を行った。
- ・街路樹の維持管理を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,570	17,548	14,567		2,981
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	街路樹愛護会報償費		1,350	1,295
11節	消耗品費		400	310
13節	大船駅東口花壇維持管理委託料		836	836
	街路樹維持管理委託料		14,720	11,845
	街路樹植替委託料		264	281

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

**職員給与費**

職員課

【 対象となる職員 】

環境部環境保全課(環境保全担当)  
 まちづくり景観部のうち都市計画課・交通計画課・都市景観課・みどり課  
 都市調整部都市調整課(風致担当)  
 都市整備部のうち道路課(国県道対策担当)・公園課  
 拠点整備部(再開発課拠点整備総務担当及び再開発担当を除く)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	483,334	480,226
・ 2節 給料 一般職	217,642	215,524
一般職職員 56人		
再任用(短時間) 3人		
・ 3節 職員手当等	186,902	185,324
扶養手当	8,023	7,955
地域手当	35,443	35,124
通勤手当	6,259	6,176
超過勤務手当	11,224	14,868
休日給	100	182
管理職手当	11,815	11,782
期末勤勉手当	97,568	95,212
住居手当	11,925	9,519
管理職員特別勤務手当	0	66
児童手当	4,545	4,440
・ 4節 共済費	78,790	79,378
市町村職員共済組合負担金	77,988	78,163
社会保険料	759	1,114
雇用保険料	43	101

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 15 公共下水道費

◎下水道・河川 ○下水道の整備・管理

下水道事業特別会計繰出金

【 都市整備総務課 】

【 事業の内容 】

・ 下水道事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,453,200	2,363,792	2,363,792		0

<支出内訳>

28節 繰出金

当初予算額 支出済額

2,453,200 2,363,792

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

**公園運営事業**

【 公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
 分野 みどり  
 施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 散在ガ池森林公園に都市公園等緑化推進専門委員を配置し、樹木育成調査及び樹木病虫害防止の調査を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
168	168	168		0
<b>&lt;支出内訳&gt;</b>				
			当初予算額	支出済額
1節	都市公園等緑化推進専門委員報酬 1人		68	68
19節	全国都市公園整備促進協議会負担金		42	42
	神奈川県公園緑地行政連絡協議会負担金		8	8
	日本公園緑地協会負担金		50	50



(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

**公園維持管理事業**

【 公園課 】

※重点事業(事業CD:3-1-2-4)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な維持管理を図るため。

効果 適確な施設管理を行うことにより良質な公園の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 樹木剪定、草刈、小規模な修繕など良好な公園の維持管理を図るための業務を指定管理者に委託した。
- ・ 岩瀬下関防災公園及び笛田一丁目公園の維持管理を行った。
- ・ 経年劣化により撤去した遊具などの交換及び市民要望による公園施設の設置等を行い、より市民ニーズに対応した公園の創造を図った。
- ・ 源氏山公園第一公衆トイレ改築事業に係る設計業務については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
329,430	339,369	319,843	4,896	14,630
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	消耗品費	457	424	
	維持修繕料	14,818	22,101	
12節	ボランティア保険料	15	15	
13節	都市公園(笛田公園を除く)指定管理料	202,433	202,433	
	都市公園(笛田公園)指定管理料	22,944	22,944	
	鎌倉広町緑地指定管理料	25,800	25,800	
	児童遊園等管理委託料	9,893	9,893	
	公園維持管理委託料	1,468	1,215	
	鎌倉広町緑地管理事務所警備委託料	102	102	
	クラウドファンディング委託料	75	0	
	公園施設設置委託料	5,500	4,428	
	都市公園管理業務委託料(岩瀬下関防災公園、笛田一丁目公園)	4,904	4,904	
	源氏山公園第一公衆トイレ改築事業設計委託料 (翌年度への繰越明許費)	6,994	0	
14節	児童遊園等土地賃借料	24,892	18,876	
	梶原六本松公園土地賃借料	3,594	3,594	
15節	笛田公園駐車場内倉庫撤去工事請負費	3,500	3,114	
	鎌倉中央公園木道撤去工事請負費	2,041	0	

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

**公園整備事業**

公園課

※重点事業(事業CD:3-1-2-5)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・前年度から事故繰越した(仮称)山ノ内東瓜ヶ谷緑地及び(仮称)山崎・台峯緑地の施設整備工事を行った。
- ・(仮称)山崎・台峯緑地等の供用開始に向けて、樹林管理等を行った。
- ・(仮称)山崎・台峯緑地の供用開始に向けて、用地測量、整備工事等を行ったが、整備工事については年度内に完了できないため、翌年度に繰越しを行った。
- ・(仮称)山ノ内宮下小路2号緑地の供用開始に向けて、用地測量を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
136,263	192,154	116,060	61,618	14,476
<b>&lt;支出内訳&gt;</b>				
			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			103	103
印刷製本費			36	0
12節 ボランティア活動保険料			10	0
13節 都市公園等整備事業用地樹林管理業務等委託料			12,723	10,397
(仮称)山崎・台峯緑地(保全)用地測量業務委託料			20,715	17,608
(仮称)山崎・台峯緑地(保全)設計業務委託料			3,110	4,309
(仮称)山ノ内宮下小路2号緑地用地測量業務委託料			1,501	497
15節 (仮称)山崎・台峯緑地(公園)整備工事請負費			98,064	26,300
(翌年度への繰越明許費)				
(仮称)山崎・台峯緑地(公園)整備工事請負費			0	43,936
(前年度からの事故繰越し)				
(仮称)山ノ内東瓜ヶ谷緑地整備工事請負費			0	12,910
(前年度からの事故繰越し)				
22節 都市公園予定地等に関する賠償金			1	0
<b>&lt;主な特定財源&gt;</b>				
・国県支出金				28,500
・地方債				28,800

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

**公園用地取得事業**

【 公園課 】

※重点事業(事業CD:3-1-2-6)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉広町緑地用地を取得した。
- ・ (仮称)山崎・台峯緑地用地を取得し、早期開園に向け準備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
254,666	113,843	92,405		21,438
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		119	99
	印刷製本費		278	3
13節	鎌倉広町緑地用地不動産鑑定評価業務委託料		2,223	583
	(仮称)山崎・台峯緑地用地不動産鑑定評価業務委託料		3,809	713
17節	鎌倉広町緑地用地購入費		117,617	26,952
	(仮称)山崎・台峯緑地(公園)用地購入費		128,172	63,380
	(仮称)山崎・台峯緑地(保全)用地購入費		2,448	675
<主な特定財源>				
	・国県支出金			30,200
	・地方債			54,200

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○鎌倉らしい住まいづくり

**市営住宅管理運営事業**

【 住宅課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 住宅・住環境

施策の方針 鎌倉らしい住まいづくり

【 事業の目的 】

対象 住宅に困窮している市民及び市営住宅入居者

意図 市営住宅の入居者選考を行うとともに、市営住宅建物の修繕等により適正な管理・運営を行うため。

効果 市営住宅入居の公平性及び入居者が安心して住める居住環境を確保する。

【 事業の内容 】

- ・市営住宅入居者選考委員会の開催など、市営住宅の運営に係る事務を行った。
- ・市営住宅の指定管理者による維持管理を行った。
- ・借り上げ住宅の賃借料の支払いを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
139,746	140,016	139,576		440
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	市営住宅入居者選考委員会委員報酬 5人		52	52
8節	市営住宅抽選会立会人謝礼		14	9
11節	消耗品費		72	68
	印刷製本費		17	16
	市営住宅各種修繕料		2,160	2,074
13節	公営住宅管理システム保守点検業務委託料		715	715
	市営住宅等指定管理料		39,500	39,500
	公営住宅管理システム機器移設業務委託料		0	217
14節	公営住宅管理システム用機器等賃借料		751	691
	福祉型借上市営住宅賃借料		94,542	94,542
19節	神奈川県地域住宅協議会負担金		3	2
	市営住宅管理費等負担金		1,920	1,690

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○鎌倉らしい住まいづくり

**住宅政策推進事業**

住宅課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち  
 分野 住宅・住環境  
 施策の方針 鎌倉らしい住まいづくり

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 若年ファミリー層の転入促進と転出抑制、高齢者・障害者等が暮らし続けることができる住宅施策を推進し、安心して住むことができる環境を整える。

効果 人口の年齢構成バランスに配慮した住まいづくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・第3次鎌倉市住宅マスタープランに基づき、住宅施策の推進を図った。
- ・高齢者、障害者及び子育て世帯の民間賃貸住宅への入居の支援を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
407	407	317		90
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
8節	住宅政策アドバイザー報償費		135	45
13節	あんしん賃貸支援事業による入居支援業務委託料		272	272
<主な特定財源>				
	・国県支出金			121

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○鎌倉らしい住まいづくり

空き家等対策推進事業

住宅課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち  
分野 住宅・住環境  
施策の方針 鎌倉らしい住まいづくり

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 空き家等対策を総合的かつ計画的に実施するため。

効果 適切な管理が行われていない空き家等に関する施策を推進し、市民の生活環境の保全を図る。

【 事業の内容 】

・ 鎌倉市空家等対策計画に基づき、施策の推進を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
508	508	321		187
< 支出内訳 >			当初予算額	支出済額
1節	空家等対策協議会委員報酬 11人		224	92
11節	消耗品費		65	20
	印刷製本費		219	209

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○鎌倉らしい住まいづくり

**市営住宅集約化事業**

住宅課

※重点事業(事業CD:5-5-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 住宅・住環境

施策の方針 鎌倉らしい住まいづくり

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公共施設再編計画に基づき、老朽化した市営住宅の集約・建替えを行うため。

効果 市営住宅入居者が安心して住める居住環境を確保する。

【 事業の内容 】

- ・老朽化した市営住宅について集約化を行うため、課題の整理・検討を行い、PFI等民間活力の活用を前提として基本計画を策定した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,414	14,494	12,941		1,553
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	市営住宅集約化基本計画作成業務委託料		8,640	6,156
	市営住宅集約候補地土地履歴調査業務委託料		1,384	489
	市営住宅集約候補地土壌概況調査業務委託料		12,334	5,897
	市営住宅集約候補地廃薬品収集運搬処理業務委託料		0	399
22節	市営住宅入居者移転補償費		1,056	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			6,093

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

まちづくり景観部まちづくり政策課(空き家対策担当)・都市整備部建築住宅課(住宅担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	40,997	45,654
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 5人	17,218	20,167
・ 3節 職員手当等	16,938	17,566
扶養手当	1,307	1,172
地域手当	2,910	3,347
通勤手当	163	373
超過勤務手当	2,151	1,004
休日給	0	4
管理職手当	972	972
期末勤勉手当	8,139	9,541
住居手当	1,116	1,141
管理職員特別勤務手当	0	12
児童手当	180	0
・ 4節 共済費	6,841	7,921
市町村職員共済組合負担金		